

噂が消えず地域は不安で一杯だ。売却はしないという認識でよいのか。②東中野四・五丁目地域に必要な屋内スポーツ活動の場、すなわち体育館は恒久的に整備される認識でよいのか。③教職員寮は東中野小跡施設活用と一体整備されるのか。④統合新校の通学路には、万全の安全対策が必要だ。整備状況はどうなっているか。

区長 ①地域に必要な機能を恒久的に整備していく中で、東中野小跡地に整備するものも多く、売却は考えていない。②施設の利用や他の機能との関連から、より地域にふさわしい形で屋内スポーツ活動の場の確保を図っていく。③東中野四・五丁目地域に必要な機能として検討を行う。

教育長 ④ガードパイプ設置はほぼ完了し、通学安全指導員の配置箇所増加も検討している。また、歩行者用信号を、青信号の残時間表示が可能なものに替えるよう警察に要請し、来年度交換予定との回答を得た。安全対策は行政の責任として保護者や地域と連携してしっかり対応したい。

妙正寺川治水対策への区を考えを問う

自由民主党議員団 大内 しのぶ



近年、短時間で記録的な豪雨が降ることにより都市型水害の被害が増え、区民の不安は増している。①中野区が進める「河川激甚災害対策特別緊急事業」の進捗よく状況は。②環状七号線から西の妙正寺川上流域の治水対策について、都営鷹の宮アパートの建替え計画に伴い、区は調節池の整備を要望している。③聞かぬが、どのような状況か。

区長 ①平成21年度末の完成を目指し、現在3分の1

突発的な集中豪雨対策を進め、区民の安全確保を

公明党議員団 南 かづひ



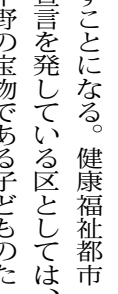
今年8月10日の集中豪雨で妙正寺川の水量が三谷橋付近で護岸の上端までと80センチとなった。①この際、環状七号線地下調節池で妙正寺川から取水が初めて行われた結果、水害が防がれたと考えるが区の見解は。②ケーブල්テレビ上の河川水位情報にみられる時間差を、ほぼ正確な区

能との関連から、より地域にふさわしい形で屋内スポーツ活動の場の確保を図っていく。③東中野四・五丁目地域に必要な機能として検討を行う。

教育長 ④ガードパイプ設置はほぼ完了し、通学安全指導員の配置箇所増加も検討している。また、歩行者用信号を、青信号の残時間表示が可能なものに替えるよう警察に要請し、来年度交換予定との回答を得た。安全対策は行政の責任として保護者や地域と連携してしっかり対応したい。

子どもたちの安全のために

自由民主党議員団 大内 しのぶ



おたふくかせ、みずぼうそうの有効な対策であるワクチン接種は任意接種というのが日本の現状である。既に公的助成を行っている自治体もあり、公的助成の実施が医療費

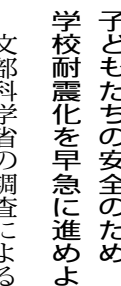
認定子ども園に十分な支援を

①平成22年開始の認定子ども園だが、予定されている施設改修について、実際使用する運営事業者の意見を聞いていくのか。②不慣れな点も多い運営事業者のため、区独自の支援や補助を行ってみたい。

区長 ①運営事業者の意見、要望を聞きながら調理機器の配置などを進めている。②開設当初の保育環境を整えるため、独自の補助を2年間行うことを考えている。また障害児を受け入れた場合の補助制度の創設を検討している。

子どもたちの安全のために

自由民主党議員団 大内 しのぶ



子どもたちの安全のために学校耐震化を早急に進めよ

文部科学省の調査によると中野区の学校耐震化率は23区中最下位とのことである。区は学校の耐震補強工事を進めているが、子どもたちの安全と避難所としての整備のため、耐震診断Bランク(耐震性能は比較的高いが、補強が望ましい)の学校に対しても耐震化を前倒しで実施すべきでは。区長 学校施設の耐震化は中野区耐震改修促進計画で



妙正寺川改修工事

働きがいがあり利用しやすい介護保険制度の実現を

日本共産党議員団 せきと 進



③3年ごとの制度見直しの度に介護報酬が引き下げられ、介護従事者の賃金の低さは深刻だ。訪問介護員の6割が非正規雇用で、調査では平均時給は1千121円とあるが、実際の話を聞くと実質の時給は700円、単一事業所のみでの年収は100万円未満であるという。国もこの問題を人材不足にもつながっているという認識に立ち、次期介護報酬について審議している。区は、どう考えているのか。

②厚生労働省の通達では、一律に介護保険制度を優先とはしていないが、障害者が65歳

の支援や補助を行ってみたい。

区長 ①運営事業者の意見、要望を聞きながら調理機器の配置などを進めている。②開設当初の保育環境を整えるため、独自の補助を2年間行うことを考えている。また障害児を受け入れた場合の補助制度の創設を検討している。

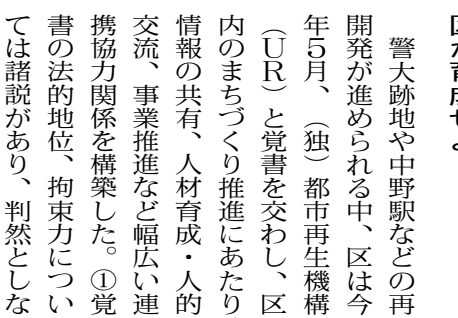
子どもたちの安全のために

自由民主党議員団 大内 しのぶ



子どもたちの安全のために学校耐震化を早急に進めよ

文部科学省の調査によると中野区の学校耐震化率は23区中最下位とのことである。区は学校の耐震補強工事を進めているが、子どもたちの安全と避難所としての整備のため、耐震診断Bランク(耐震性能は比較的高いが、補強が望ましい)の学校に対しても耐震化を前倒しで実施すべきでは。区長 学校施設の耐震化は中野区耐震改修促進計画で



警察大学校等跡地

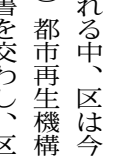
実情に応じて自立支援給付を併給できる場合がある。65歳を迎えた障害者については、国の通達を踏まえ、個別のケースに応じて適切に対応している。

まちづくり推進の人材は区が育成せよ

警大跡地や中野駅などの再開発が進められる中、区は今年5月、(独)都市再生機構(UR)と覚書を交わし、区内のまちづくり推進にあたり、情報の共有、人材育成・人的交流、事業推進など幅広い連携協力関係を構築した。①覚書の法的地位、拘束力については諸説があり、判断としては契約と同等か弱いのか、区の見解は。②存続が危ぶまれるURに頼るのではなく、必要な人材は、区の中で育成

今後の区財政運営を問う

自由民主党議員団 伊藤 正信



世界同時株安、円高、原油などの物価高騰など、区の基幹的な収入である都区財政調整交付金や特別区税に大きな影響を与える今の状況について、区はどのように分析し対処していくのか。

区長 区の歳入見直しも厳しいものになってくると分析している。今後、区内産業の活性化や雇用創出などとともに、区民生活向上のための事業を行い、将来の財源を増加させる施策展開を行っていることが大事であると考えている。

新学習指導要領を区民に説明せよ

新学習指導要領について、在籍中に新制度に変わる学年では、今までの学習内容との違いが出てしまうのではないかと不安の声がある。教育委員会はどのように対応するのか。

教育長 新学習指導要領の内容についてのリーフレットを、学校を通じて全保護者に配布した。今後、保護者への十分な説明ができるよう区として取り組んでいきたい。

特別支援教育の充実

特別支援学級に通う児童・生徒と他の児童・生徒との交流は、障害のある児童・生徒の自立や社会参加への意識が高まることにも、障害のある児童・生徒に対する理解にもつながると考える。区内の弱視学級では保護者を含めた交流が行われた。このような交流の機会をもっと多く設けていくべきではないか。

教育長 現在、多くの特別支援学級と通常の学級において交流や共同学習を行っている。また、都立の特別支援学校との交流も行っている。今後も障害の特性や保護者の意



江古田の森公園ピオトープ

今年度開始のホタル事業により江古田の森公園ではホタルが飛翔し、区民が鑑賞に訪れた。区の計画では3年後の自然羽化を目指しているそうだが、初年度の結果や公園全体のピオトープ(人が関与している)に設けていきたい。

区長 自然繁殖は確認できていないが、まずまずの成果だった。公園全体のピオトープ化は難しいが、ピオトープに関する研修の機会を積極的に設けていきたい。